

過去の協議会等における委員意見について（カテゴリーごとの仕分け）

1. アンケート関連

(1) アンケート方法について

	要旨	備考
1	10代、20代、学生の意見が反映されるような調査内容にして欲しい。	R5第1回（R5. 11. 24）
2	手話を広めるという目的を踏まえ、ろう者以外の意見を抽出するアンケートを実施して欲しい。	〃
3	アンケート自体を手話で動画化して配信することはできないか。	〃
4	20歳未満の子ども達については沖縄ろう学校の生徒全員にアンケートできなかったのか。	〃
5	アンケートの実施方法について、委員の考えを聞いて欲しい。	R7第1回（R7. 11. 13）
6	小中学校では難聴学級・言語学級に在籍している児童がいるため、学校現場へもアンケートの依頼は行って欲しい。	R5第1回（R5. 11. 24）
7	沖縄ろう学校との連携の強化をお願いしたい。	〃
8	動画制作の他に、webアンケートも実施して欲しい。	〃
9	高齢者は文章に関して苦手意識があるので、質問の仕方についても工夫して欲しい。	〃
10	協議会委員がもっている課題や現状認識について、委託事業者にも共有していただきたい。	〃
11	手話通訳の設置が無い市町村については、ろうあ者は役所窓口に行かないので、アンケート実施できないのではないかな。	R5第2回（R6. 2. 6）
12	今後行われるアンケート調査については、難聴学級、通常学級それぞれ生徒の在籍を確認しているので、学校にも依頼いただくことはよいと思う。	R7第1回（R7. 11. 13）
13	電話リレーサービスや文字アプリなど、手話通訳派遣を利用しない方も増えている。アンケート調査の対象は、手話通訳派遣の利用者以外も含めて、今後検討を進めていただきたい。	〃
14	こどもまんなか社会の実現に向け、子ども達の意見を聴くことが重要視されている。沖縄ろう学校、特別支援学級、小中高の子ども達の意見を広く反映させて欲しい。	第4期計画策定委託業務企画提案審査（R8. 7. 16）

(2) アンケート内容について

	要旨	備考
15	災害に関する回答分析について。「少しわかる」は「わかる」に含めてはいけないのではないかな。	R5第1回（R5. 11. 24）

(3) アンケート回収率について

	要旨	備考
16	アンケートの回収率向上に向けた取組に期待する。文章をわかり易くするほか、どのようなサポートが寄与するか、関係団体と意見交換し、工夫・検討して欲しい。	第4期計画策定委託業務企画提案審査（R8. 7. 16）
17	アンケートツールはGoogleフォームの方が利用しやすいのではないかな。	〃

過去の協議会等における委員意見について（カテゴリーごとの仕分け）

2. 学校教育関連

	要旨	備考
18	小中高の教員に手話の研修を行って欲しい。	R5第2回（R6. 2. 6）
19	大学の養成プログラムについて。一般の方でも手話を学びたい方のために大学が門戸を広げて受講できるもの。県でも取り組んでいただきたい。	〃
20	難聴児は大きくなるにつれ、他者とうまくコミュニケーションがとれず不安感が増している子もいるため、そういった子の手助けも必要と思う。	〃
21	教員が手話を学ぶ機会の確保をお願いしたい。	R7第1回（R7. 11. 13）
22	手話を必要とする子どもの手話の習得の支援（法第6条）については、沖縄ろう学校以外での取組の検討が必要ではないか。	〃
23	学校における手話による教育等（法第7条）に関連して、学校現場における手話の習得や手話ができる者の配置を検討していただきたい。	〃

3. 手話普及・啓発関連

	要旨	備考
24	イベント開催等の委託事業が単発的で手話通訳者養成などの施策に繋がっていない。	R5第1回（R5. 11. 24）
25	あらゆる事業者が合理的配慮しなければならない。配慮が足りないところについて取組みを具現化していただきたい。	〃
26	手話をもっと日常生活のなかで身近に使えるような提案を県民に普及できる内容を盛り込めないか。日常的に気軽に使えるものからの提案をしていただきたい。	〃
27	行政の行うイベントに手話通訳を配置することをベース化して欲しい。	R5第2回（R6. 2. 6）
28	市町村が行う手話奉仕員養成講座について。市町村によって講座が昼間だったり夜間だったりする。間口を広げる意味でも多くの人が受講できるようなシステムにできないか。	〃
29	小学生は手話ソングが好き。手話ソングを気軽に見て学べるようなものをYouTubeにアップしたり、出前講座のような形で学校に来ていただいて、教えてもらおうといい。	〃
30	触手話など、盲ろう者との意思疎通についても広めていただきたい。	R7第1回（R7. 11. 13）

4. 手話通訳者等関連

	要旨	備考
31	手話通訳者の1人あたりの活動日数に学校や企業などの通訳依頼が見落とされているのではないか。	R5第1回（R5. 11. 24）
32	手話通訳者について、合格者を出して実際に動ける通訳者の養成をしっかりとっていただきたい。	〃
33	厚労省と全国手話通訳問題研究会が全国の登録手話通訳者の調査研究を行っているので参考にして欲しい。	〃
34	県の課題として、手話通訳者の処遇改善に向けた取組みをしていただきたい。	R5第2回（R6. 2. 6）
35	沖縄盲ろう者友の会の会員には引きこもってしまう方もいる。移動する際、コミュニケーションをとる際の通訳介助者がすごく少ないので、通訳者の登録者を増やしていただきたい。	〃
36	手話通訳者の健康問題に関連して、頸肩腕健診の継続をお願いしたい。	R7第1回（R7. 11. 13）

過去の協議会等における委員意見について（カテゴリーごとの仕分け）

5. 第4期沖縄県手話推進計画関連

	要旨	備考
37	速やかな第4期計画の素案の提示をお願いしたい。	R7第1回（R7. 11. 13）
38	委員意見の丁寧な収集に努めていただきたい。	〃
39	第3期計画におけるアンケート調査結果においても、満足度の不足や優先度は明らかである。それらに基づく計画策定を検討していただきたい。	〃
40	第4期計画においては、手話施策推進法を踏まえた内容にしなければならない。	〃

6. その他

	要旨	備考
41	合理的配慮について。文字で書いているだけでは子ども達には理解できない。	R5第2回（R6. 2. 6）
42	選挙について。YouTubeやテレビや動画に字幕をつけるなどして欲しい。	〃